

Futaba®

Flybarless Control Gyro

CGY750

ヘリ用ガバナー機能一体型 3 軸 AVCS ジャイロ

取扱説明書


V2.0~

3D スタイル専用

この取扱説明書はセットアップスタイルを "3D" スタイルへ変更した場合の機能説明書となります。注意事項や接続・取付・詳細設定方法などは本体説明書をご参照ください。

目次

• 3D スタイルへの変更	2
• ファースト・マップ	3
• オープニング画面	3
• ホーム画面	3
• ワーニング表示	5
• S.BUS ベーシック設定	6
• スワッシュベーシック設定	7
• スワッシュディテール設定	9
• フライトチューニング設定 (エルロン / エレベーター)	11
• ラダージャイロベーシック設定	12
• ガバナーベーシック設定	13
• フライトチューンエキスパート設定	15
• ラダージャイロエキスパート設定	15
• ガバナーエキスパート設定	16
• コンディションメニュー	17
• 機能マップ 3D スタイル	18

 ジャイロ: ジャイロの説明

 ガバナ: ガバナーの説明

アップデートや最新情報については Futaba WEB サイトでご確認ください:

<http://www.futaba.co.jp/>

セットアップスタイル <初期値：F3C>

◆ **F3C** (初期設定) : 詳細な設定が可能

※本体付属の説明書は F3C スタイルが前提となっています。F3C スタイルで使用する場合そちらをご参照ください。

◆ **3D** : AIL エキスパートと ELE エキスパートをフライトチューンエキスパートへ集約など一部設定項目が簡略化されます。(MAP 参照)

※切替時、AIL/ELE/RUD ジャイロ設定は初期化されます。

Home 画面



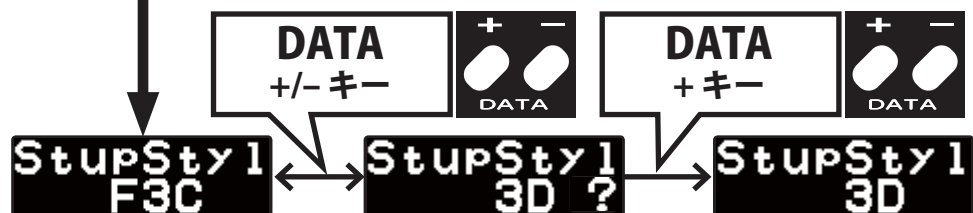
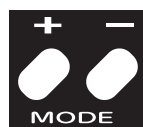
DATA キー +



スワッシュベーシック



MODE キー +



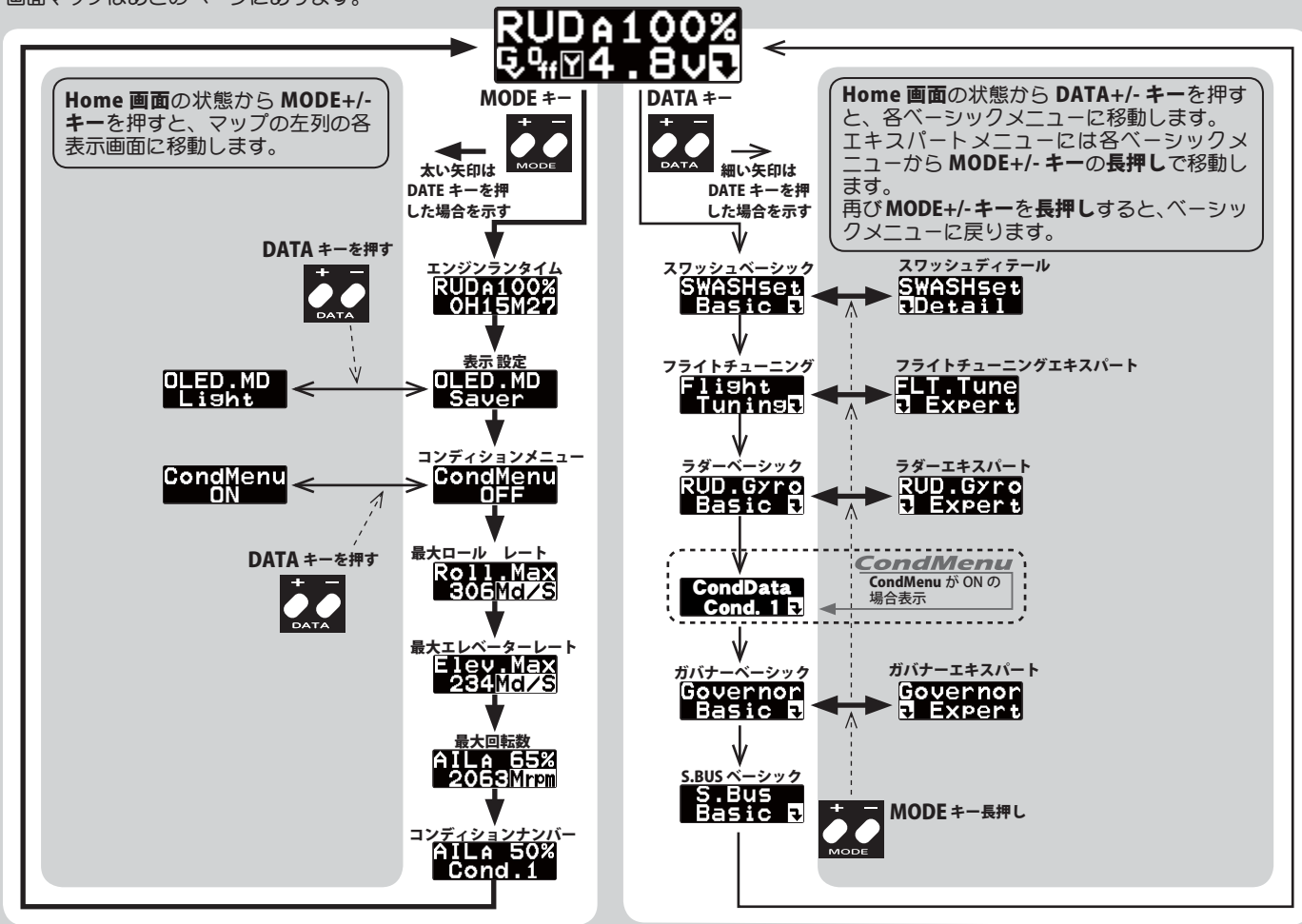
?マークの間に DATA +キーを押すと 3D へ切替ります。

FIRST MAP

設定画面マップのはじめの階層です。それぞれの画面マップはあとのページにあります。

Home 画面

ラダー感度・電圧の表示



オープニング画面

電源を ON にすると、CGY750 が起動し、自動的に初期化が行われます。初期化が終了すると、CGY750 は動作状態となり、ホーム画面に移動します。初期化は受信機からの信号を受信後、約 3 秒かかります。

ブートアップ画面

電源投入後に表示される画面です。上段は、機器の識別コード、下段はファームウェアのバージョンを示しています。

ID:10000
Ver:2.00

初期化画面

内部の初期化中の画面です。ヘリコプターのフリップイメージが表示されます。正常に初期化が終了すると、ラダーサーボが左右に、スワッシュサーボが上下に反復動作をして初期化終了を知らせます。その後ホーム画面に移動し動作可能状態になります。この間ヘリは固定して、動かないようにしてください。



ホーム画面

CGY750 は正常起動後、ホーム画面に移動します。表示上段は、ジャイロ感度表示、下段はガバナー動作モード表示となります。ジャイロ感度表示は、約 2 秒ごとにラダー、エルロン、エレベーターの感度表示が切替わります。オペレーションモードを、Gyro+THR または、スワッシュモードを H4-xx モードに選択した時は、ガバナーはオフとなり、ジャイロのみ動作時のホーム画面になります。

起動後のホーム画面

- ① 制御軸表示
- ② ジャイロ動作モード
- ③ ジャイロ感度

RUDA 100%
4.8V

- ④ ON/OFF スイッチ
- ⑤ ヨーレート補正
- ⑥ 電源電圧表示
- ⑦ オリエンテーションインジケータ

エルロン感度表示: AILa 65%
エレベーター感度表示: ELEA 70%
ジャイロのみ動作時: RUDA 100%
4.8V

① 制御軸表示: [ジャイロ]

制御軸を示します。約 2 秒ごとに RUD,AIL,ELE と表示が切替わります。

② ジャイロ動作モード: [ジャイロ]

AVCS または ノーマルの動作表示を行います。AVCS モード時、ラダーニュートラルがズレている時は "A" 表示が反転表示されます。エルロン、エレベーター軸も同様の表示を行います。

RUDA 100% AVCS モード動作時
RUDN 100% ノーマルモード動作時
RUDA 100% AVCS モードニュートラルズレ

AVCS モード時、ラダースティックを高速 (1 往復 1 秒以内) に左右に 2 往復以上振り、ニュートラルに戻すと、ラダー、エルロン、エレベーターの AVCS 量がリセットされ、ラダーサーボはニュートラル位置に移動します。その時に "-----" が表示されます。

4.9V
AVCS リセット

※ラダースティックの D/R が 71% 以上である必要があります。

感度切替えスイッチを、AVCSとノーマルに切替えられるよう設定した状態で、切替えスイッチを、高速（1秒以内）の間隔で、ノーマル→AVCS→ノーマル→AVCSと動かすと、送信機のラダーニュートラル位置がジャイロ側に記憶されます。この操作は、ノーマルモードでヘリを飛行させ、ラダートリムを取り直した後に、AVCSモード動作時のラダーニュートラル位置の更新に使用します。更新が終了すると、*****が表示されます。



CGY750をAVCSモード側で電源をONにすると、その時のラダースティック位置をラダーニュートラル位置として記憶更新します。したがって、電源ON時、初期化完了までは、送信機のラダーはニュートラル位置に固定してください。

本機能は、エルロンジャイロ、エレベータージャイロにも共通の機能です。

③ジャイロ感度：[ジャイロ]

ジャイロの動作感度を表示します。

④ON/OFFスイッチ：[ガバナ]

ガバナ機能のON/OFFスイッチの状態を示します。"On"表示になるとガバナ機能が動作状態となります。



⑤ヨーレート補正：[ガバナ]

ガバナ機能の、ピルエット時の回転数補正機能が有効の時、表示されます。機能が無効の場合は、何も表示されません。

⑥電源電圧表示

供給される電源の電圧を表示します。バッテリーフェイルセーフ電圧(BFS)の設定電圧以下となると、ローバッテリーアラームが表示されます。

⑦オリエンテーションインジケータ

操作ガイド表示です。直下にある、DATA +/-キー操作が有効であることを表しています。ホーム画面の場合、DATA +/-キーを押すと、ジャイロセッティングモードに切替わります。

回転数表示 [ガバナ]



ガバナ機能を使用時、エンジンが始動されると、自動的に電源電圧表示が、エンジン回転数表示に切替わります。またエンジンが停止すると、電源電圧表示に戻ります。回転数表示は、ガバナ・エキスパート設定のディスプレイモードの切替により、メインローター回転数または、エンジン回転数表示を選択できます。ガバナ動作がONになると、rpm表示が低速点滅となります。エンジン回転数が、設定回転数の±2%以内に収まると、rpm表示は高速点滅となります。更に、±1%以内に収まると、rpm表示は反転表示となり、回転数がロックされたことを示します。

サブホーム画面

ホーム画面表示時、MODE +/-キーを押すごとに、表示画面の下行が、電源電圧表示→最高回転数表示→エンジンランタイム表示→OLED表示モード→オペレーションモードと切替わります。

①エンジンランタイム表示：[ガバナ]



エンジンの稼働時間を表示します。ホーム画面表示状態で、MODE +キーを2回押すと、ランタイム表示に切替わります。100時間までは、秒単位の表示となり、xxHxxMxxが表示されます。100時間を越えると、分単位の表示となり、xxxxHxxMの表示となります。DATA +または-キーを1秒以上長押しすると、時間はリセットされます。ランタイム時間はリセットされるまで、電源を切ってもメモリーに記憶されます。

②OLED表示モード 初期設定：Saver



OLEDの表示モードを設定します。Saverモードは、キー無操作時間が、約60秒経過すると、表示輝度を落とし、パワーセーブモードとなります。どれかのキーを押すと輝度は元に戻ります。Lightモードは常に最大輝度で表示を行います。DATA +/-キーを押すごとに、モードが切替わります。

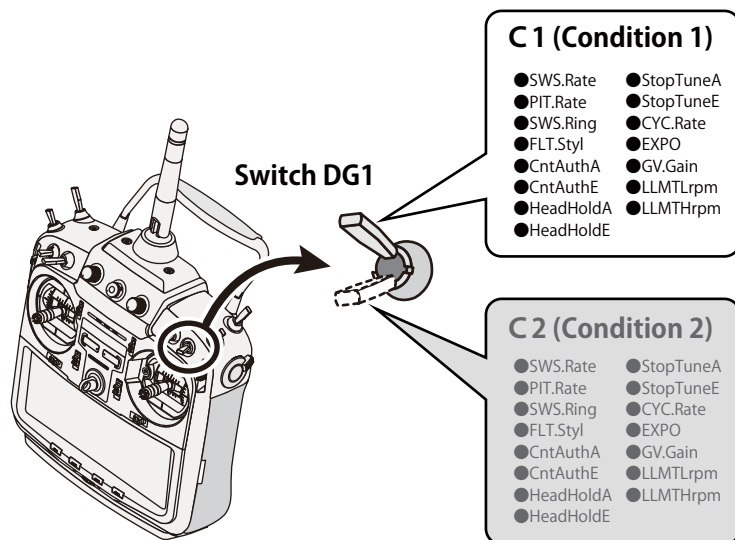
③コンディションメニュー [初期設定：OFF]



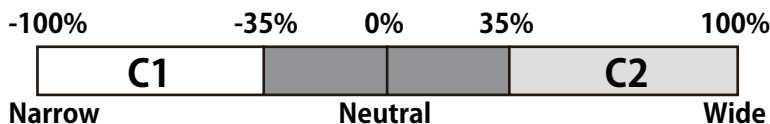
送信機のフライト・コンディション機能のように、いくつかのパラメータにおいて、送信機からのスイッチ操作で、2通りのデータを切替えて使用できます。送信機のスイッチがOFFのときのデータをホバリング用、スイッチがONのときのデータを上空用にするなどの使い方ができます。ロジック・スイッチ機能のある送信機なら、送信機のフライト・コンディション・スイッチと連動させることも可能です。

ONするとコンディション切替可能な機能がコンディションメニュー内に移動します。

※切替可能な機能は巻末のマップをご参照ください。



Switch Channel Rate



④ロールマックスレート表示 [ジャイロ]



飛行時のロールレートの最大値を表示します。電源をオフするとデータはリセットされます。レートを確認したい場合は、飛行後電源をオンのままとしてください。

⑤エレベーターマックスレート表示 [ジャイロ]



飛行時のエレベーターレートの最大値を表示します。電源をオフするとデータはリセットされます。レートを確認したい場合は、飛行後電源をオンのままとしてください。

⑥最高回転数表示：[ガバナ]



動作中のエンジン最大回転数を表示します。ホーム画面表示の状態で、MODE +キーを押すと最高回転数表示画面に変わります。DATA +または-キーを1秒以上長押しすると、表示はリセットされます。回転数表示はリセットされるまで、電源を切ってもメモリーに記憶されます。

⑦コンディションナンバー表示




現在のコンディションナンバーを表示します。

ガバナー動作ワーニング表示 ガバナ



↑ (インジケーター)

電源を ON したときに、ガバナースイッチが ON 状態となっている場合、 のワーニングインジケーターが点滅します。ワーニング状態では、ガバナーは ON にはなりません。一度 ON 状態を解除するとこのインジケーターは消え、ガバナーは動作可能状態となります。エンジン始動時は必ずガバナーは OFF 状態としてください。

センサーエラー ジャイロ




ジャイロセンサーに異常が発生しているときに表示されます。ジャイロ動作はしません。

メモリー書き込み表示



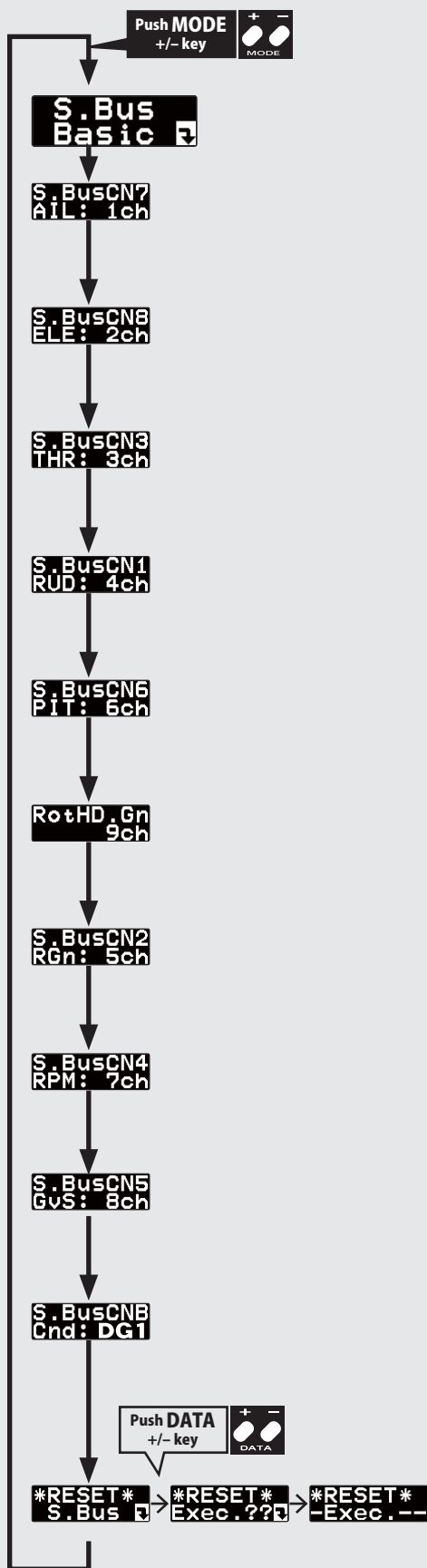
データ設定を変更した時、メモリーにデータを書き込む間、画面右下に時計シンボルが点滅します。

警告

-  この表示中は電源を切らない。
 - メモリー書込中に電源を切ると全データが初期化されます。

使用する送信機に合わせて、各ファンクションのCH設定をします。CGY750はS.BUS受信機が必要です。使用しないファンクションはINHに設定します。

S.BUS BASIC MAP



△警告

① CGY750のファンクションCH設定と送信機のファンクションが必ず一致するようにします。送信機のファンクションとCHを変更した場合、CGY750も変更が必要です。

① S.BUS 接続設定：スタート画面

MODE +/-キーを押すごとに設定画面が切り替わります。

●設定範囲(共通)：1～16ch, DG1, DG2, INH

② S.BUS 接続設定：エルロンチャンネル <初期値：1ch >

DATA +/-キーを押して、送信機のエルロンチャンネルに設定します。

③ S.BUS 接続設定：エレベーターチャンネル <初期値：2ch >

DATA +/-キーを押して、送信機のエレベーターチャンネルに設定します。

④ S.BUS 接続設定：スロットルチャンネル <初期値：3ch >

DATA +/-キーを押して、送信機のスロットルチャンネルに設定します。

⑤ S.BUS 接続設定：ラダーチャンネル <初期値：4ch >

DATA +/-キーを押して、送信機のラダーチャンネルに設定します。

⑥ S.BUS 接続設定：ピッチチャンネル <初期値：6ch >

DATA +/-キーを押して、送信機のピッチチャンネルに設定します。

⑦ S.BUS 接続設定：ローターヘッド(AIL,ELE)ゲインチャンネル<初期値：9ch >

DATA +/-キーを押して、送信機のエルロン/エレベーターゲインチャンネルに設定します。

⑧ S.BUS 接続設定：RUDゲインチャンネル <初期値：5ch >

DATA +/-キーを押して、送信機のラダーゲインチャンネルに設定します。

⑨ S.BUS 接続設定：回転数設定チャンネル <初期値：7ch >

DATA +/-キーを押して、送信機の回転数設定チャンネルに設定します。

⑩ S.BUS 接続設定：ガバナー ON/OFF チャンネル <初期値：8ch >

DATA +/-キーを押して、送信機のカバナー ON/OFF チャンネルに設定します。

⑪ S.BUS 接続設定：コンディションスイッチチャンネル <初期値：DG1 >

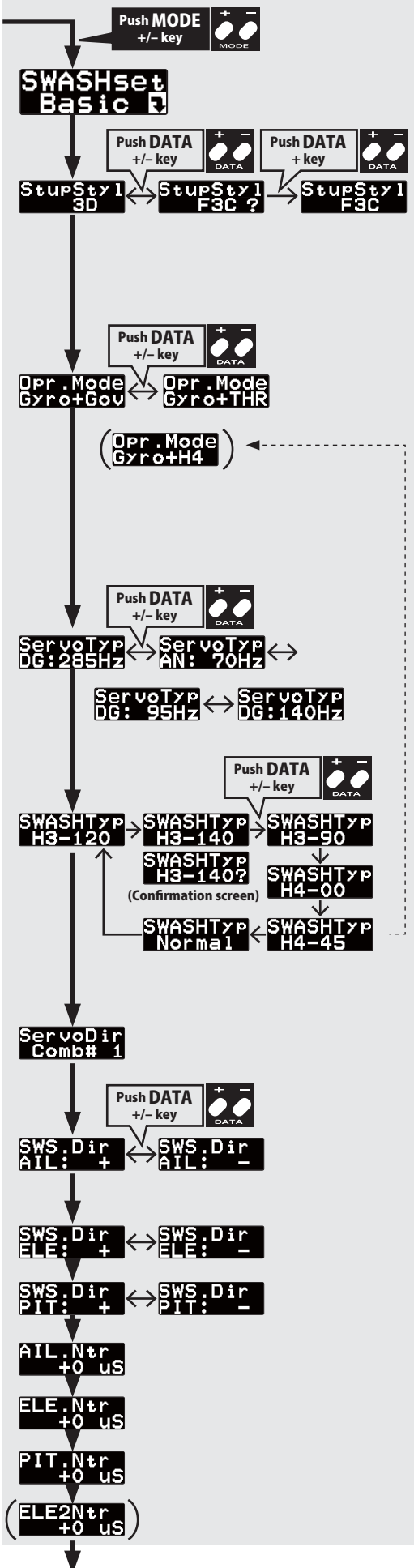
DATA +/-キーを押して、送信機のコンディションスイッチチャンネルに設定します。

⑫ データリセット

S.BUS 接続チャンネルのリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。DATA + または - キーを押すと、「Exec.??」の確認画面となります。更にもう一度 DATA + または - キーを押すと、「-Exec.-」が表示され、リセットが完了します。リセット完了後は、スタート画面に戻ります。途中でリセット動作を中止するときは、MODE + または - キーを押して、リセット画面から退避します。

スワッシュ動作の基本設定を行います。エルロン/エレベータージャイロを使用時は必ずこのスワッシュ・ベーシック設定を行ってください。

SWASH BASIC MAP. 1/2



① スタート画面

MODE +/- キーを押すごとに設定画面が切替わります。

② セットアップスタイル <初期値：F3C>

◆ **F3C** (初期設定) : 詳細な設定が可能
 ※本体付属説明書は F3C スタイルが前提となっています。F3C スタイルでご使用の場合は本体付属の説明書ご参照ください。
 ◆ **3D** : AIL エキスパートと ELE エキスパートをフライトチューンエキスパートへ集約など一部設定項目が簡略化されます。(MAP 参照) この WEB 版説明書は 3D スタイル専用です。
 ※切替時、AIL/ELE/RUD ジャイロ設定は初期化されます。

③ オペレーションモード <初期値：Gyro+Gov>

CGY750 の動作モードを設定します。初期設定は、Gyro+Gov モードです。ガバナーを使用しない場合は、Gyro+THR を選択します。この場合、TH 端子には、スロットル信号がスルーで出力されます。また、スワッシュモードを H4-xx モードに設定した場合は、表示は Gyro+H4 に自動的に切替わります。ガバナーは無効となります。

⚠警告

① 動作モードを切替えた場合、必ず再起動してください。そのまま使用すると異常動作となります。

④ サーボタイプ <初期値：DG:285Hz>

スワッシュサーボの種類を選択します。AN:70Hz, DG:95Hz, DG:140Hz, DG:285Hz の 4 種類の選択ができます。Futaba 製デジタルサーボは、最速モードである DG:285Hz にすべて対応していますが、高速モードに対応していないサーボを使う場合、サーボスベックを確認して、適宜設定を変更してください。

⚠警告

① サーボタイプが異なる設定となっていると、サーボが故障したり、ヘリが操縦不能になる危険性があります。

⑤ スワッシュタイプ <初期値：H3-120>

スワッシュタイプの選択を行います。
【設定方法】 DATA +/- キーを押すと変更確認画面、xxx? が表示されます。この状態で、set キーを押すと選択されたスワッシュタイプに変更されます。RSET キーを押すと元のモードに戻ります。xxx? 表示の状態、1 秒以上何も操作をしないと、元のモードに戻ります。設定を変更すると、他のデータは初期化されます。

⚠警告

① スワッシュタイプを変更すると他の設定データがリセットされます。はじめにスワッシュタイプをきめてから他のデータを設定してください。

⑥ サーボ動作方向設定 <初期値：1>

スワッシュサーボの動作方向を設定します。H3-xx スワッシュモードの場合、3 個のスワッシュサーボの動作方向を、DATA+ または DATA- ボタンを押すごとに順次切り替えていきます。ボタンを押して、ピッチ方向の動作方向が合う設定値を選択します。H3-xx スワッシュモードの場合、8 種類の組み合わせがあります。その中の一つを選択します。画面下段右にその組み合わせ番号を表示します。H4-xx スワッシュモードの場合は、16 種類の組み合わせがあります。同様に設定します。

ピッチ方向の動作方向が合っても、エルロン、エレベーターの動作方向が逆となる場合があります。この時は、スワッシュ動作方向設定により、極性を反転します。あるいは、送信機の、エルロン、エレベーターのリバース設定をリバースとしてください

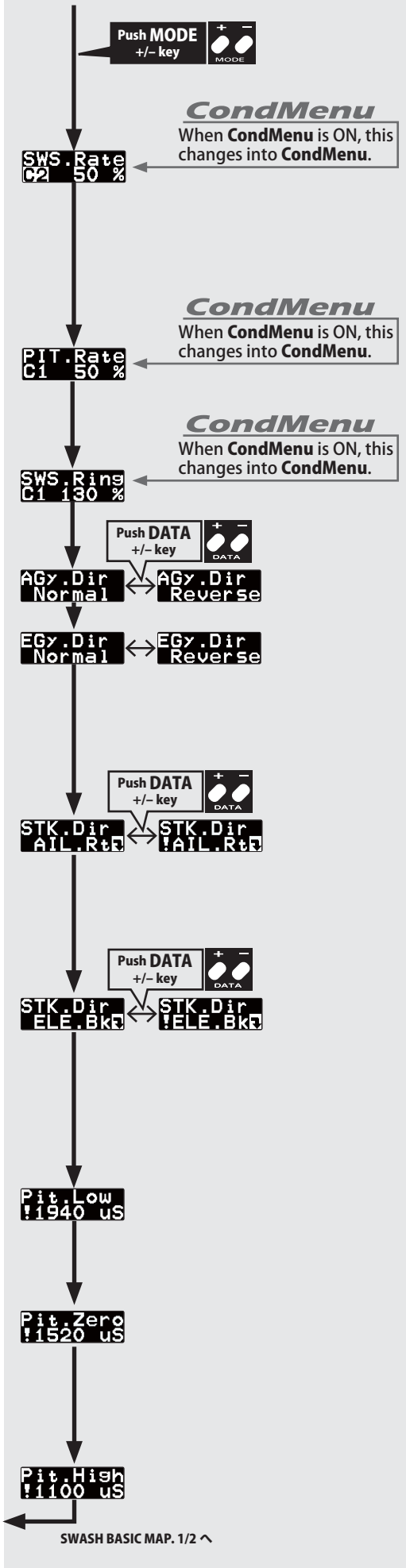
⑦ スワッシュ動作方向設定 <初期値：+>

スワッシュ操作の動作方向を設定します。送信機の動作方向とスワッシュプレートの動作方向が逆の場合は、極性を反転します。データ +/- キーを押すごとに、極性が切替わります。

⑧ サーボニュートラル調整 <初期値：0μS> <設定範囲：-116μS ~ 0μS ~ +116μS>

スワッシュサーボのニュートラル位置の調整を行います。モード +/- キーを押すごとに、エルロン、エレベーター、ピッチ、セカンドエレベーターサーボの調整に切替わります。ELE2 は H4 モード時のみ設定可能です。データ +/- キーを押すごとに、オフセット量が増減します。

SWASH BASIC MAP. 2/2



⑨ スワッシュレート設定 <初期値：50%> <設定範囲：0% ~ 100%>

エルロン、エレベーター操作時のピッチ角度の変化量を設定します。送信機の AFR が 100% 時に、エルロン、エレベーターそれぞれのピッチ角度変化が、8 ~ 10° になるようにレートを設定します。データ +/- キーを押すごとに、レートが増減します。

⑩ ピッチレート設定 <初期値：50%> <設定範囲：0% ~ 100%>

ピッチ角度変化量を設定します。送信機のピッチ操作をした時に、規定のピッチ角度変化が得られるようにレートを調整します。データ +/- キーを押すごとに、レートが増減します。

⑪ スワッシュリング <初期値：130%> <設定範囲：50% ~ 150%>

スワッシュの動作リミット量を調整します。エルロン、エレベーターを同時に操作した時に、スワッシュプレートがオーバー動作とならない値に設定します。データ +/- キーを押すごとに、動作量が増減します。

⑫ エルロン / エレベータージャイロ動作方向設定 <初期値：Normal >

エルロン / エレベータージャイロの動作方向の設定を行います。エルロンの場合、機体を右に傾けた時に、スワッシュプレートが左方向に傾くように設定します。エレベーターは、機体をアップ (後) 方向に傾けた時に、スワッシュプレートがダウン (前) 方向に傾くように設定します。データ +/- キーを押すごとに動作方向が切替わります。

⚠ 警告

① ジャイロ動作方向に間違えがないか、よく確認してください。もし間違えているとヘリは操作不能で墜落します。

⑬ エルロン動作方向設定

エルロンの動作方向を、CGY750 に読み込みます。エルロンスティックを右方向一杯に振ります。DATA+ または DATA- キーを押します。この操作で、エルロンの動作方向が記憶されます。スティックを右に振ったとき、表示の下段左側に、"! " マークが表示されます。F/F ミキシングを有効に動作させるために、必ず設定をしてください。また、この操作は、リンクージ終了後に各舵の動作方向を合わせた後で行ってください。

⑭ エレベーター動作方向設定

エレベーターの動作方向を、CGY750 に読み込みます。エレベータースティックをアップ方向一杯に振ります。DATA+ または DATA- キーを押します。この操作で、エレベーターの動作方向が記憶されます。スティックをアップに振ったとき、表示の下段左側に、"! " マークが表示されます。F/F ミキシングを有効に動作させるために、必ず設定をしてください。また、この操作は、リンクージ終了後に各舵の動作方向を合わせた後で行ってください。

⑮ ピッチロー設定 <初期値：1940μS >

ピッチ角、最少のキャリブレーション信号を記憶します。スロットルスティックをマイナスピッチ最少位置に動かし、データ+ または - キーを押すと、その時のピッチ信号が記憶されます。スロットルスティックが記憶された位置に一致すると、! マークが表示されます。F/F ミキシング動作及びリンクージ補正操作を行う場合、必ずこの設定を行ってください。

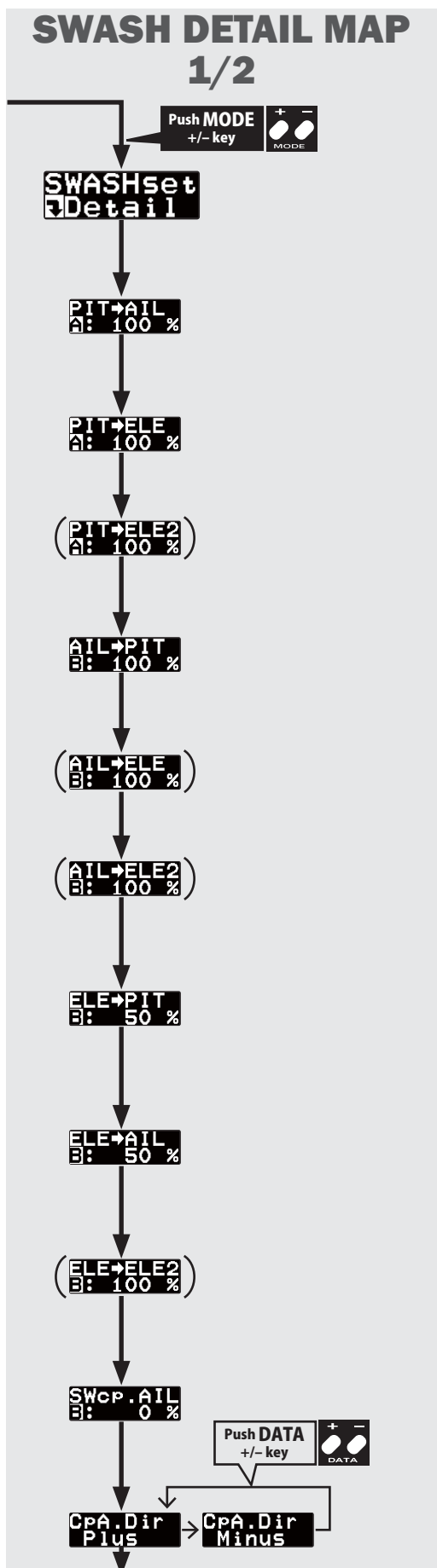
⑯ ピッチゼロ設定 <初期値：1520μS >

ピッチ角、0 度のキャリブレーション信号を記憶します。スロットルスティックをピッチ角 0 度の位置に動かし、データ+ または - キーを押すと、その時のピッチ信号が記憶されます。スロットルスティックが記憶された位置に一致すると、! マークが表示されます。F/F ミキシング動作及びリンクージ補正操作を行う場合、必ずこの設定を行ってください。

⑰ ピッチハイ設定 <初期値：1100μS >

ピッチ角、最大のキャリブレーション信号を記憶します。スロットルスティックをプラスピッチ最大位置に動かし、データ+ または - キーを押すと、その時のピッチ信号が記憶されます。スロットルスティックが記憶された位置に一致すると、! マークが表示されます。F/F ミキシング動作及びリンクージ補正操作を行う場合、必ずこの設定を行ってください。

スワッシュセッティングの詳細設定を行います。スワッシュ・ベーシックメニュー画面で、MODE+/- キーを1秒以上長押しすると、スワッシュ・ディテールメニュー画面に移動します。MODE+/- キーを1秒以上長押しすると、スワッシュ・ベーシックメニュー画面へ戻ります。



① スタート画面

MODE +/- キーを押すごとに設定画面が切替わります。

② PIT → AIL ミキシングレート <初期値：100% > <設定範囲：30%~150% >

ピッチからエルロンサーボへのミキシング量を調整します。ピッチアップ、ダウン方向に独立して調整できます。

③ PIT → ELE ミキシングレート <初期値：100% > <設定範囲：30%~150% >

ピッチからエレベーターサーボへのミキシング量を調整します。ピッチアップ、ダウン方向に独立して調整できます。

④ PIT → ELE2 ミキシングレート <初期値：100% > <設定範囲：30%~150% >

ピッチから 2nd エレベーターサーボへのミキシング量を調整します。ピッチアップ、ダウン方向に独立して調整できます。H4 スワッシュモードのみ有効となります。

⑤ AIL → PIT ミキシングレート <初期値：100% > <設定範囲：30%~150% >

エルロンからピッチサーボへのミキシング量を調整します。エルロン左右方向に独立して調整できます。

⑥ AIL → ELE ミキシングレート <初期値：100% > <設定範囲：30%~150% >

エルロンからエレベーターサーボへのミキシング量を調整します。エルロン左右方向に独立して調整できます。H4-45 モードのみに有効となります。

⑦ AIL → ELE2 ミキシングレート <初期値：100% > <設定範囲：30%~150% >

エルロンから 2nd エレベーターサーボへのミキシング量を調整します。エルロン左右方向に独立して調整できます。H4-45 モードのみに有効となります。

⑧ ELE → PIT ミキシングレート <初期値：50%(H3-120), 100%(H3-120 以外) > <設定範囲：30%~150% >

エレベーターからピッチサーボへのミキシング量を調整します。エレベーター、アップダウン両方向に独立して調整できます。

⑨ ELE → AIL ミキシングレート <初期値：50%(H3-120), 100%(H3-120 以外) > <設定範囲：30~150% >

エレベーターからエルロンサーボへのミキシング量を調整します。エレベーター、アップダウン両方向に独立して調整できます。

⑩ ELE → ELE2 ミキシングレート <初期値：100% > <設定範囲：30%~150% >

エレベーターから 2nd エレベーターサーボへのミキシング量を調整します。エレベーター、アップダウン両方向に独立して調整できます。H4 スワッシュモードのみ有効です。

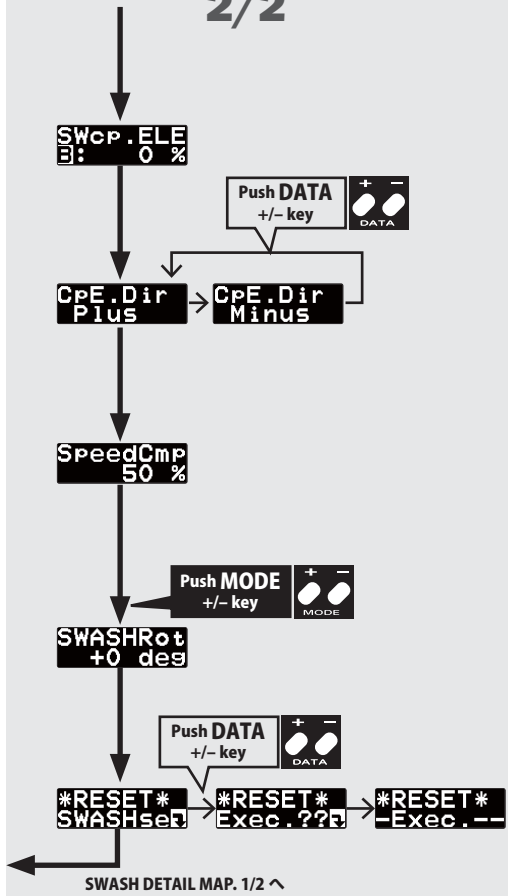
⑪ リンケージ補正エルロン <初期値：0% > <設定範囲：0%~100% >

エルロン操作時の、ピッチ、エレベーター方向へのサーボ動作干渉の補正を設定します。ピッチハイロー側で、左右両方向の4点の設定が独立して調整できます。

⑫ リンケージ補正エルロン補正方向 <初期値：Plus >

エルロンリンケージ補正動作の補正方向の設定を行います。DATA +/- キーを押すごとに補正方向が変わります。干渉が少なくなる方向に設定してください。

SWASH DETAIL MAP 2/2



⑬ リンケージ補正エレベーター <初期値：0%> <設定範囲：0%~100%>

エレベーター操作時の、ピッチ、エルロン方向へのサーボ動作干渉の補正を設定します。ピッチハイロー側で、エレベーターアップダウン両方向の4点の設定が独立して調整できます。

⑭ リンケージ補正エレベーター補正方向 <初期値：Plus>

エレベーターリンケージ補正動作の補正方向の設定を行います。DATA +/- キーを押すごとに補正方向が変わります。干渉が少なくなる方向に設定してください。

⑮ スピード補正方向 <初期値：50% (H3-120のみ)> <設定範囲：0%~100%>

エレベーター操作時の、ピッチ、エルロンサーボの動作スピードを調整します。H3-120モードのみ有効です。

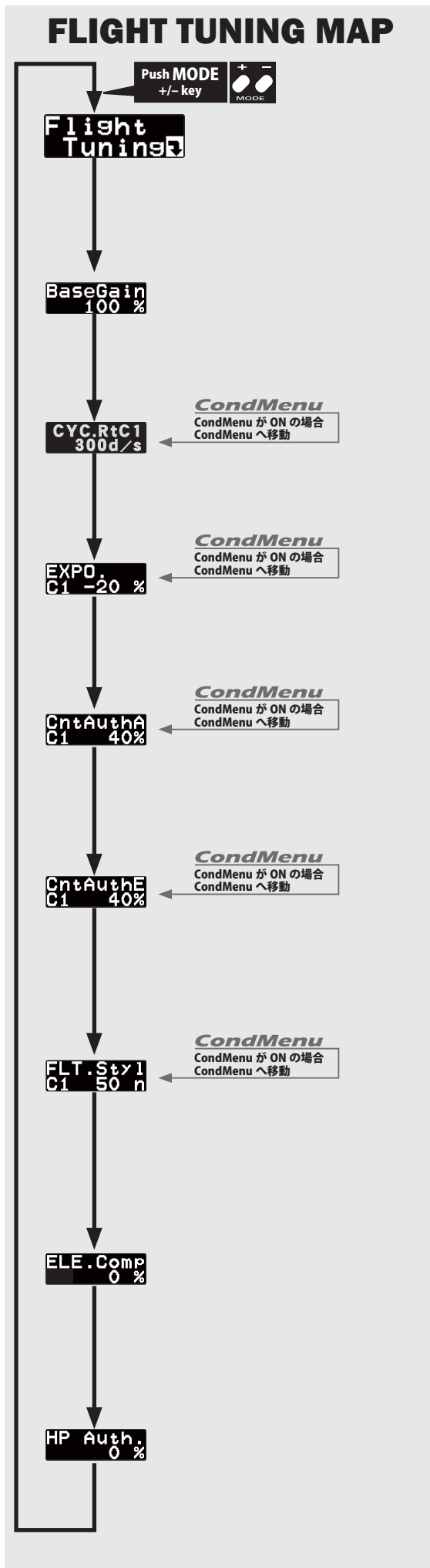
⑯ スワッシュローテーション <初期値：0 deg> <設定範囲：-90 deg~+90 deg>

スワッシュプレートのアラインメント調整を行います。仮想的にスワッシュプレートを回転させます。回転範囲は、±90°です。スワッシュプレートの構造により、回転方向は決まりますので、回転方向は、エルロン、エレベーター操作で確認してください。

⑰ リセット

スワッシュセッティングデータのリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。DATA + または - キーを押すと、Exec.?? の確認画面となります。更にもう一度 DATA + または - キーを押すと、-Exec.-- が表示され、リセットが完了します。リセット完了後は、スタート画面に戻ります。途中でリセット動作を中止するときは、MODE + または - キーを押して、リセット画面から退避します。

フライトチューニングでは、ヘリのロール/ピッチ (エルロン/エレベーター) 軸の制御を設定します。



① スタート画面

MODE +/- キーを押すごとに設定画面が切替わります。

② ジャイロ基本ゲイン設定 <初期値：100% > <設定範囲：0% ~ 150% >

ジャイロの基本ゲインを設定します。送信機からのゲインセッティングを無効とした場合は、基本ゲインで動作します。データ +/- キーを押すごとに値が増減します。

③ サイクリックレート設定 <初期値：300d/s > <設定範囲：10d/s~500d/s >

サイクリック (エルロン・エレベーター) レートの設定を行います。一秒間に当たりに回転するスピードを設定します。設定値は、送信機の AFR が 100% 時のサイクリックレートを指します。エルロン・エレベーターが同時に変化します。

④ エキスポネンシャル <初期値：-20% > <設定範囲：-100%~0%~100% >

サイクリック操作フィーリングの調整を行います。設定値を下げていくと、ニュートラル付近のコントロールが鈍感になります。逆に増やすとクイックになります。データ +/- キーを押すごとに値が変わります。

⑤ コントロールオーソリティー AIL <初期値：40% > <設定範囲：0%~100% >

エルロンスティックからの操作量を設定します。値を増やしていくと、操作が敏感になります。下げるとマイルドになります。

⑥ コントロールオーソリティー ELE <初期値：40% > <設定範囲：0%~100% >

エレベータースティックからの操作量を設定します。値を増やしていくと、操作が敏感になります。下げるとマイルドになります。

⑦ フライト・スタイル <初期値：50n > <設定範囲：0n~100n >

ジャイロの姿勢保持特性を設定します。値を大きくしていくと、ヘリの姿勢をより強固に抑えます。逆に値を小さくしていくと、ヘリの姿勢変化が機敏になります。

⑧ エレベーター補正 <初期値：0 > <設定範囲：0~10 >

ピッチ操作に対するエレベーター方向への干渉の補正量を設定します。ハイ、ローピッチ操作時にエレベーター方向への干渉がある場合、レートを L、H 共に 10% 位入れて様子を見てみます。

本機能を有効に動作させるためには、エルロン、エレベーター、ピッチの動作方向の記憶が必要になります。

⑨ ハイピッチオーソリティー <初期値：0% > <設定範囲：0%~100% >

ハイ (ロー) ピッチ時のジャイロ感度補正を行います。値を増やしていくと、ピッチ操作時のヘリの姿勢保持性能が向上します。値が大きすぎると、サイクリック軸に振動が発生しやすくなりますので適正値を設定してください。

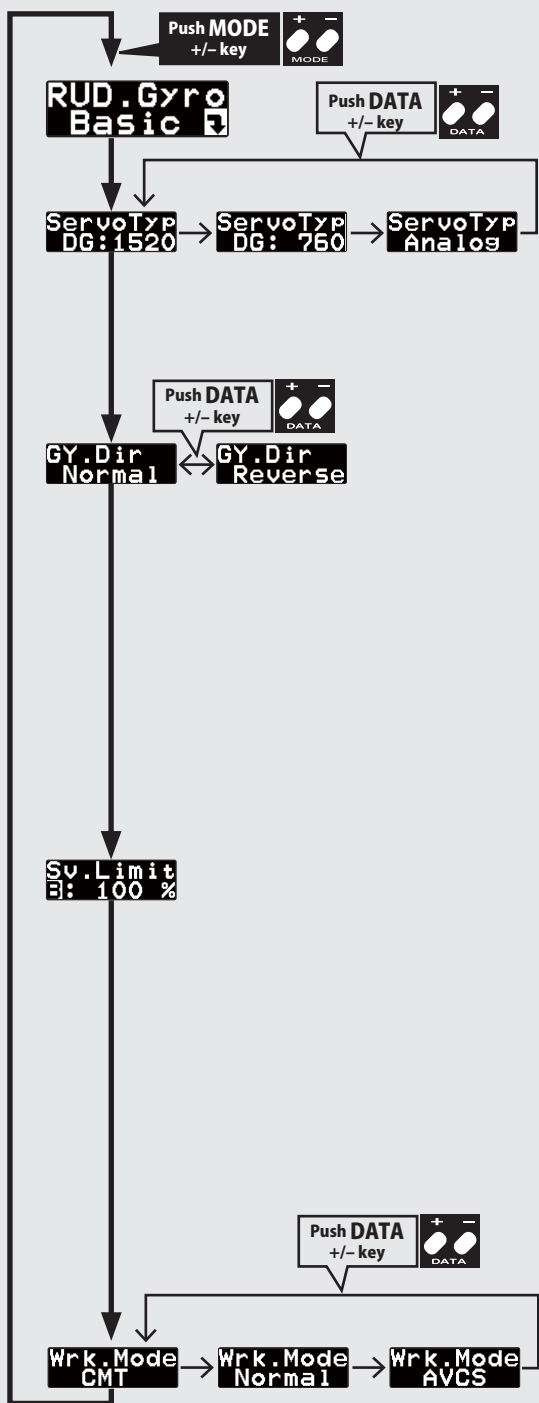
△警告

① サーボタイプを選択するまで、サーボを接続してはいけません。異なるサーボタイプのまま接続するとサーボが破損する危険性があります。

△警告

① サーボリミットポイントが正しく設定されるまで、リンクージが接続された状態で動作させないでください。リンクージ動作範囲をこえてサーボが動作すると、サーボやヘリが破損する危険性があります。

RUD GYRO BASIC MAP



① スタート画面
MODE +/- キーを押すごとに設定画面が切替わります。

② サーボタイプ <初期値：DG 1520>
使用するラダーサーボのタイプを選択します。
【設定方法】 DATA +/- キーを押すごとに、デジタル 1520 → デジタル 760 → アナログに切替わります。
DG 760: BLS276SV, BLS251SB, BLS251, S9256, S9251
DG 1520: BLS254, BLS257, S9254, S9257

△警告
① サーボタイプが異なる設定となっていると、サーボが故障したり、ヘリが操縦不能になる危険性があります。

③ ジャイロ動作方向 <初期値：Normal>
ジャイロの動作方向を設定します。
【設定方法】 機首を右に振ったときに、ジャイロは左に当て舵を打つように設定します。DATA +/- キーを押すごとに方向が切替わります。

△警告
① ジャイロの動作方向は必ずチェックしてください。
■ 動作方向が逆の状態では飛行させようとすると、機体が一定方向に激しく回転することになり、大変危険な状態に陥ります。

④ サーボリミットポイント設定 <初期値：100%> <設定範囲：50% ~ 150%>
ラダーサーボの最大舵角を調整します。ラダーリンクージが干渉しない最大の舵角に設定します。
【設定方法】 送信機のラダースティックを右(左)方向一杯に振ります。DATA + キーを押すとラダーサーボ動作量が増加します。DATA - キーを押すと動作量が減少します。ラダーサーボがリンクージと干渉しない最大位置に調整します。左右両方向の設定を行います。

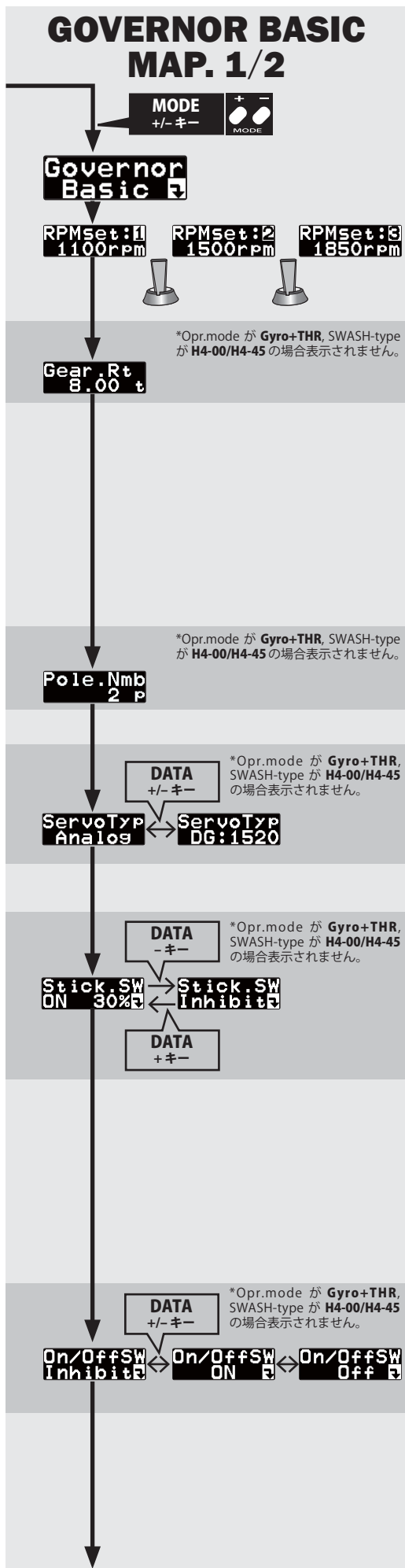
△警告
① 初めて使用するときや、リンクージを変えたとき、または、機体を変えた時は、必ずリミット設定を行ってください。

サーボリミットポイント設定について
● 飛行時はこの設定角以上にサーボは動作せず、リンクージを保護します。ただし、リミット位置を狭く設定しすぎるとジャイロ動作に影響を与える場合があります。

⑤ ジャイロ動作モード <初期値：CMT>
ジャイロの動作モードを設定します。CMT モードは送信機ジャイロ感度設定により、AVCS、ノーマルモードを切替えて使用できます。Normal モードは、ノーマルモードのみ、AVCS モードのみの動作となります。

ガバナーの基本機能の設定を行います。ガバナー機能使用時は必ずこのガバナー・ベーシック設定を行ってください。

※スロットルのリンケージ終了後は、最初に必ず「サーボリミットポイント設定」をしてから、他の機能を設定してください。



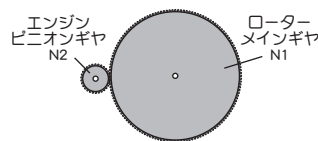
① スタート画面
MODE +/- キーを押すごとに設定画面が切替わります。

② 回転数設定 <設定範囲：Off-700rpm ~ 4,000 rpm >
メインローター回転数を設定します。メインシャフトのギヤ比からエンジン回転数を計算します。Off 設定でガバナーは OFF となります。

③ ギヤ比設定 <初期値：8.00 > <設定範囲：1 ~ 50 >
メインシャフトのギヤ比を入力します。
【設定方法】DATA +/- キーを押して設定します。

ローターギヤレシオについて

- ギヤ比を正しく設定しないと、設定回転数と実際のエンジン回転数にズレを生じます。
- ギヤ比は機体の取扱説明書に記載されています。記載されていない場合は右の方法で算出してください。



ギヤ比 = N1 / N2
※ 1/1000 以下を四捨五入

④ ポールナンバー <初期値：2p > <設定範囲：2p ~ 24p >
モーターのポール（極）数を設定します。ブラシレスモーターの駆動信号により回転数を検出する、フェーズ・センサー信号をサポートします。使用するブラシレスモーターの極数を入力してください。標準の、マグネットセンサー、バックプレートセンサーを使用する時は、2P を選択してください。回転センサー端子の入力信号範囲は、0v ~ 3.0v です。この範囲を超える信号を加えると、CGY750 が破損する可能性があります。信号の出力範囲を充分確認して、接続してください。

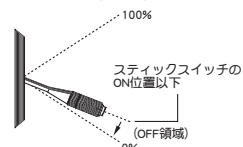
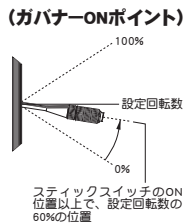
⑤ サーボ選択 <初期値：Analog >
使用するスロットルサーボタイプを選択します。デジタルサーボを使用すると、応答速度が上がり、性能が向上します。
【設定方法】DATA +/- キーを押すごとに、モードが切替わります。設定を間違えると、正常に動作しません。

警告
①サーボタイプが異なる設定となっていると、サーボが故障したり、ヘリが操縦不能になる危険性があります。

スティックでガバナーを ON/OFF する場合
下記の条件でガバナーが ON/OFF します。

⑥ スティックスイッチ
スティックの位置（スロットルの出力量）により、ガバナー機能の ON/OFF を制御します。
【設定方法】スロットルスティックをガバナーを ON にしたい位置に動かします。SET キーを押すと ON 位置が記憶されます。RSET キーを押すと機能が無効となります。

- スティックスイッチの ON 位置以上で、なおかつ設定回転数の 60% 以上とすると → ON
- スティックスイッチの ON 位置以上に保つと → ON のまま
- スティックスイッチの ON 位置以下に下げると → OFF (ガバナー-OFFポイント)



⑥項のガバナー ON/OFF スイッチ機能が Inhibit または、スイッチが非接続の場合、このスティックスイッチ機能は常に有効となります。

●アイドルアップ時の動作
アイドルアップ時、スロットルカーブが設定されている場合、スロットル出力が設定値（初期値：30%）以上のときは、スティックを一番下に下げても、常に ON のままです。

⑦ ガバナー ON/OFF スイッチ <初期値：Inhibit >
ガバナー機能の ON/OFF をスイッチにより行うかの設定を行います。
【設定方法】SET キーを押すと機能が有効となります。スイッチの ON/OFF 位置の選択は、SET キーをもう一度押すと切替わります。RSET キーを押すと、機能が無効となります。

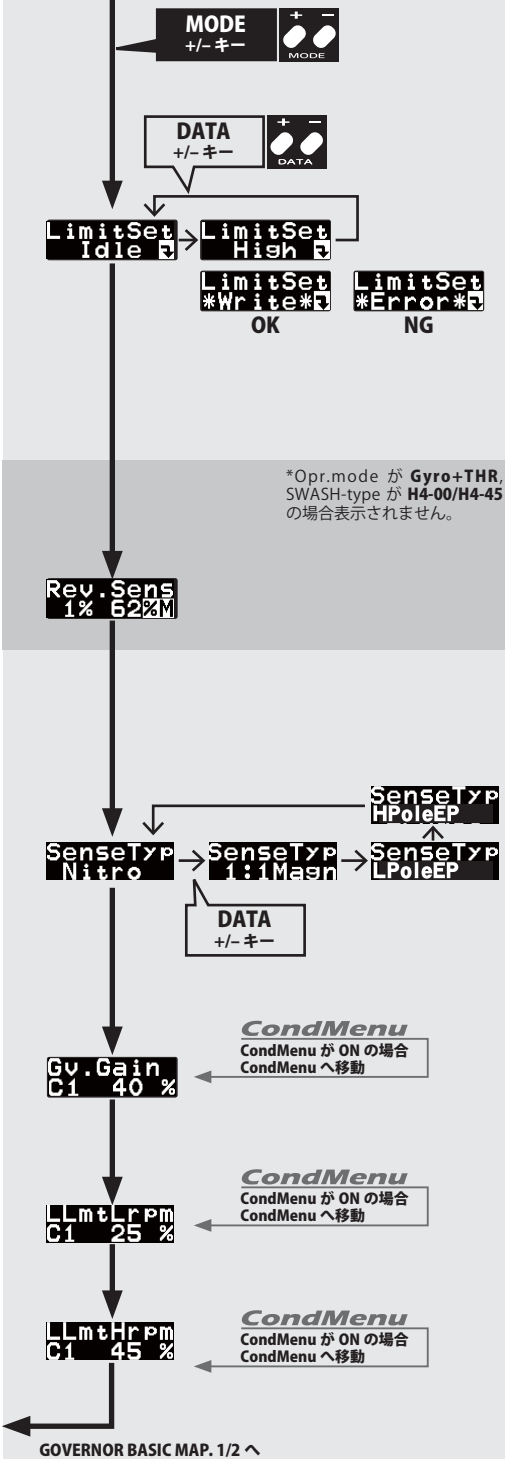
スイッチでガバナーを ON/OFF する場合
※予め、S.BUS ベーシック設定「⑩ガバナー ON/OFF チャンネル」で ON/OFF スイッチのチャンネルを選択します。

スイッチを ON 側にすると、ガバナーが動作できる状態となります。以降、下記の動作となります。

- スティックをスロー側から設定回転数の 60% 以上とすると → ON
- スティックを最スローにしても → ON のまま
- スイッチ OFF とすると → OFF



GOVERNOR BASIC MAP. 2/2



⑧サーボリミットポイント設定

スロットルサーボの動作範囲を設定します。ガバナー動作の基本となりますので、他のセッティングを行う前に実行してください。スロットルリンクージを変更したときも必ず再設定してください。

【設定方法】送信機のスロットルスティックをアイドル位置にします。DATA + または - キーを押します。表示は High に変わります。スティックをフルハイの位置にします。DATA + または - キーを押します。正常に位置が記憶されると、"*Finish" が表示されます。

設定データが正常でない場合(サーボ動作量が50%以下)は"*Error*"表示となります。この場合、送信機設定を確認し、再度上記のセットを実行してください。

⚠警告

①初めて使用するときや、リンクージを変えたとき、または、機体を変えた時は、必ずリミット設定を行ってください。

⑨回転センサーテスト

回転センサーのレベルチェックを行います。エンジンを回転させレベルを確認します。左側の数字は、現在のレベル、右側の数字は、最大レベルを表します。最大レベルが60%以上であれば、センサーは正常です。

エンジンを回転させる場合は、プラグヒートは行わず手で、回転させてください。

また、バックプレートセンサーを使用する場合、バックプレートセンサーの信号レベルは、回転数により変動します(3,000rpm以上が検出可能回転数です)。テスト方法は、プラグをヒートせず、スターターを使用してチェックします。

⑩センサータイプ

回転センサーを選択してください。

- Nitro (BPS-1 使用の場合：エンジンのバックプレートにマグネットを搭載)
- 1:1 Magnet "1:1 Mag" (マグネットをメインローターに取付けた場合)
- HPoleEP: 8 ポール (極数) 以上のブラシレスモーター使用の場合
- LPoleEP: 6 ポール (極数) のブラシレスモーター使用の場合

⑪ガバナーゲイン

ガバナー動作感度を設定します。制御レスポンスを変更すると、感度はそれぞれの初期値に変更されます。エンジン回転数にハンチングが発生しない状態に設定します。DATA +/- キーを押すごとに、感度は増減します。

⑫ローリミット Lrpm

ガバナー動作時、ホバリング回転時(700 ~ 1700rpm)にスロットルの絞込み過ぎを抑えるための、リミット設定を行います。DATA +/- キーを押すごとに値が切替わります。

⑬ローリミット Hrpm

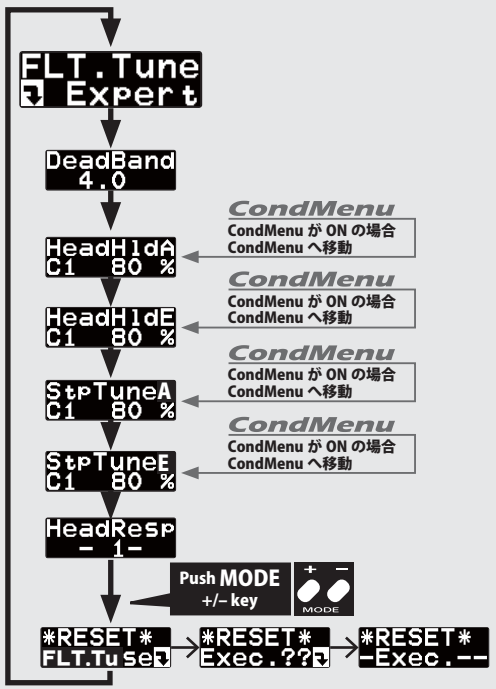
ガバナー動作時、アイドルアップ回転時(1701 ~ 4000rpm)にスロットルの絞込み過ぎを抑えるための、リミット設定を行います。DATA +/- キーを押すごとに値が切替わります。

フライトチューンエキスパート設定

ジャイロ

エルロン(ロール軸)およびエレベーター(ピッチ軸)ジャイロの詳細機能の設定を行います。フライトチューニング画面で、MODE +/- キーを1秒以上長押しすると、フライトチューンエキスパートメニュー画面に移動します。MODE +/- キーを1秒以上長押しすると、フライトチューニング画面へ戻ります。

FLT.Tune EXPERT MAP



① スタート画面

MODE +/- キーを押すごとに設定画面が切替わります。モード +/- キーを1秒以上長押しすると、Flight tuning 画面に戻ります。DATA +/- キーを押すとエルロン⇄エレベーター設定になります。

② デッドバンド <初期値: AIL 4 μS ELE 4 μS> <設定範囲: 0μS~25.0 μS>

スティック操作の不感帯を設定します。ニュートラル操作が敏感な場合、値を増やすと鈍感になります。また、逆の場合は、値を減らしてきます。

③ ヘディングホールド <初期値: 80%> <設定範囲: 0%~200%>

数値が高いと姿勢保持力が高まり、数値が低いと機敏な動作となります。数値が高すぎるとハンチングします。(A→エルロン E→エレベーター)

④ ストップチューン <初期値: 80%> <設定範囲: 0%~250%>

数値が高いと停止動作がクイックになります。数値が高すぎると停止動作時に振動が発生することがあります。(A→エルロン E→エレベーター)

⑤ ヘッドレスポンス <初期値: AIL 1 ELE 1> <設定範囲: 1~10>

ヘリのヘッドレスポンスとジャイロ制御のマッチングを取ります。1が最速のレスポンスとなります。一般的に、ヘッドのレスポンスが遅いヘリや動作スピードの遅いサーボの場合、ヘッドレスポンス設定を遅めに設定すると、ジャイロ感度を上げられ、制御性能が向上します。また、レスポンス設定を遅めにしていくと、サーボの消費電力が低減します。ただし、レスポンス設定が遅すぎると、ヘリの高速な操作に動作が追いつかない状態になります。

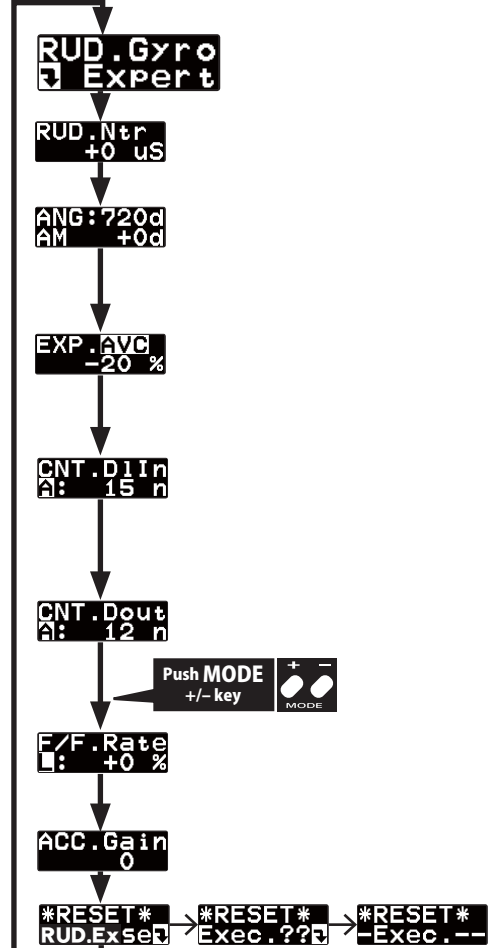
⑥ データリセット

ラダージャイロエキスパート設定

ジャイロ

ラダー(ヨー軸)ジャイロの詳細機能の設定を行います。ラダーベーシック画面で、MODE +/- キーを1秒以上長押しすると、ラダージャイロエキスパートメニュー画面に移動します。MODE +/- キーを1秒以上長押しすると、ラダージャイロベーシック画面へ戻ります。

RUD GYRO EXPERT MAP



① スタート画面

MODE +/- キーを押すごとに設定画面が切替わります。

② ラダーサーボニュートラル調整 <初期値: 0 μS> <設定範囲: -140μS~+140 μS>

ラダーサーボのニュートラル位置を調整します。DATA +/- キーを押すとサーボ位置が動きまます。ニュートラル位置で、サーボホーンが直角でない場合に使用します。

③ ビルエットスピード <初期値: 3D=720 度/秒> <設定範囲: 100 度/秒 ~999 度/秒>

AVCS モード時のラダー操作に対するビルエットスピードを調整します。初期値は、送信機のラダー操作量が100%時に720 度/秒に設定されています。下段の表示は、実際のラダー操作に対するビルエットレートを表しています。

④ ラダーエクスポネンシャル <初期値: -20% (3D)> <設定範囲: -100% ~+100%>

ラダー操作フィーリングの調整を行います。レートを下げると、ニュートラル付近のラダー操作が鈍感になります。逆に増やすとクイックになります。AVCS モードとノーマルモードを独立に調整できます。DATA +/- キーを押すごとに値が変わります。

⑤ コントロールディレイイン <初期値: Sports=12, 3D=15> <設定範囲: 0~20>

ラダー操作のニュートラル方向から左右に振った時の、ディレイ調整を行います。左右独立に調整できます。値を増やすとラダー操作はマイルドに、減らすとクイックな動作となります。DATA +/- キーを押すごとに値が変わります。

⑥ コントロールディレイアウト <初期値: Sports=10, 3D=12> <設定範囲: 0~20>

ラダー操作の左右方向からニュートラル方向に戻す時の、ディレイ調整を行います。左右独立に調整できます。値を増やすとラダー操作はマイルドに、減らすとクイックな動作となります。DATA +/- キーを押すごとに値が変わります。

⑦ F/F ミキシングレート <初期値: 0%> <設定範囲: -100% ~+100%>

F/F ミキシング量の調整を行います。ピッチゼロを中心に上下ピッチに対してミキシング量が独立に設定できます。DATA +/- キーを押すごとに値が変わります。

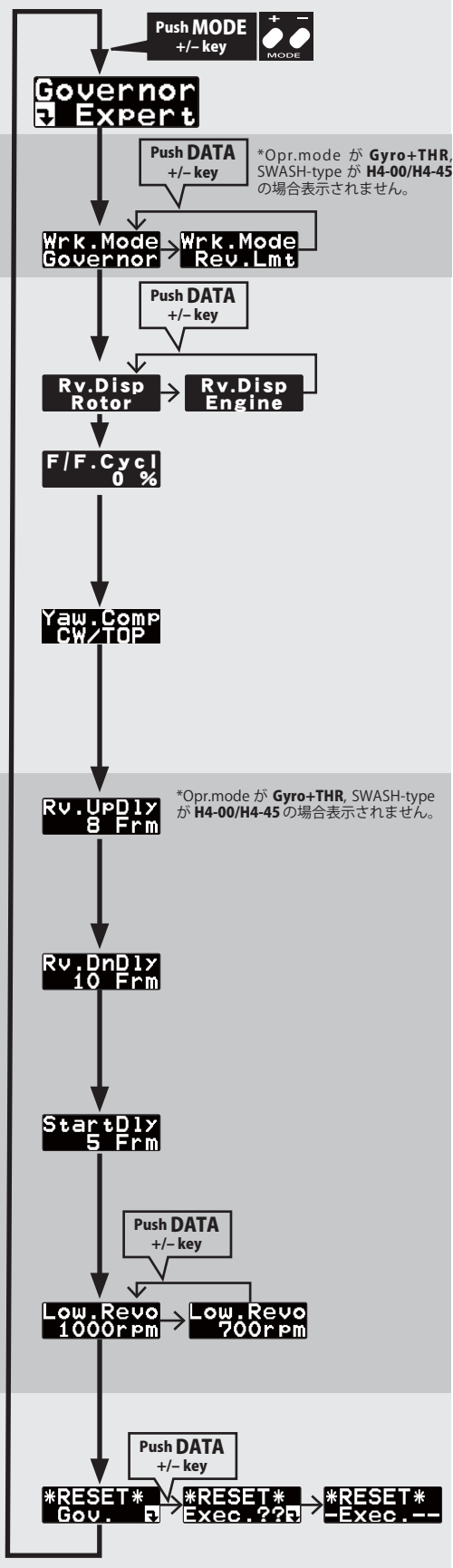
⑧ F/F ミキシングアクセレーションゲイン <初期値: 0%> <設定範囲: 0%~200%>

F/F ミキシングのアクセレーション(加速度)量を調整します。ピッチが変化した時のみミキシング動作をします。DATA +/- キーを押すごとに値が変わります。

⑨ データリセット

ガバナーセッティングの詳細設定を行います。ガバナー・ベーシックメニュー画面で、MODE+/- キーを1秒以上長押しすると、ガバナー・エキスパートメニュー画面に移動します。MODE+/- キーを1秒以上長押しすると、ガバナー・ベーシックメニュー画面へ戻ります。

GOVERNOR EXPERT MAP



① スタート画面
MODE +/- キーを押すごとに設定画面が切替わります。モード +/- キーを1秒以上長押しすると、ガバナー・ベーシック画面に戻ります。

② ガバナーワーキングモード <初期値：Governor >
ガバナーの動作モードを選択します。Governor モードは、エンジンを常に設定回転数に保つ動作をします。Rev.Lmt (レプリミット) モードは、エンジンが設定回転数を超えた時だけ設定回転数になるように制御します。エンジンの過回転を防止させるように働きます。DATA +/- キーを押すごとにモードが切替わります。

③ 回転数表示モード <初期値：Rotor >
回転数表示を、メインローターまたはエンジン回転数表示に切替えます。DATA +/- キーを押すごとにモードが切替わります。

④ フィードフォワードサイクリック <初期値：0% >
数値を増加すると、回転数安定のためのフィードフォワード制御量が増加します。

⑤ ヨーレート補正 <初期値：CW/TOP >
ピルエット時の、エンジン回転数変動を補正します。ジャイロセンサーの取付け方向およびメインローターの回転方向を選択します。
【設定方法】RSET キーを押すと OFF モードになります。DATA + キーを押すごとにモードが切替わります。
CW：時計方向、CCW：反時計方向
TOP：正面、BOTM：背面
●ピルエット時の回転数変動の意味
ガバナーはエンジン部に搭載された回転センサーにより回転数を検出します。ピルエット時は、ヘリの機体自体が回転するため、そのピルエット速度分がエンジン回転数に加(減)算されてしまいます。従って、対地のメインローター回転数が変動してしまいます。
CGY750はジャイロを搭載していますので、ピルエット速度を正確に計測できます。ヨーレート補正は、ジャイロ機能と、ガバナー機能のコンビネーションで実現しています。

⑥ 回転数アップディレイ <初期値：8 > <設定範囲：2~20 >
回転数設定を上昇させるとき、急激な回転数変化を抑えるため、ディレイを設定します。DATA +/- キーを押すごとに値が切替わります。

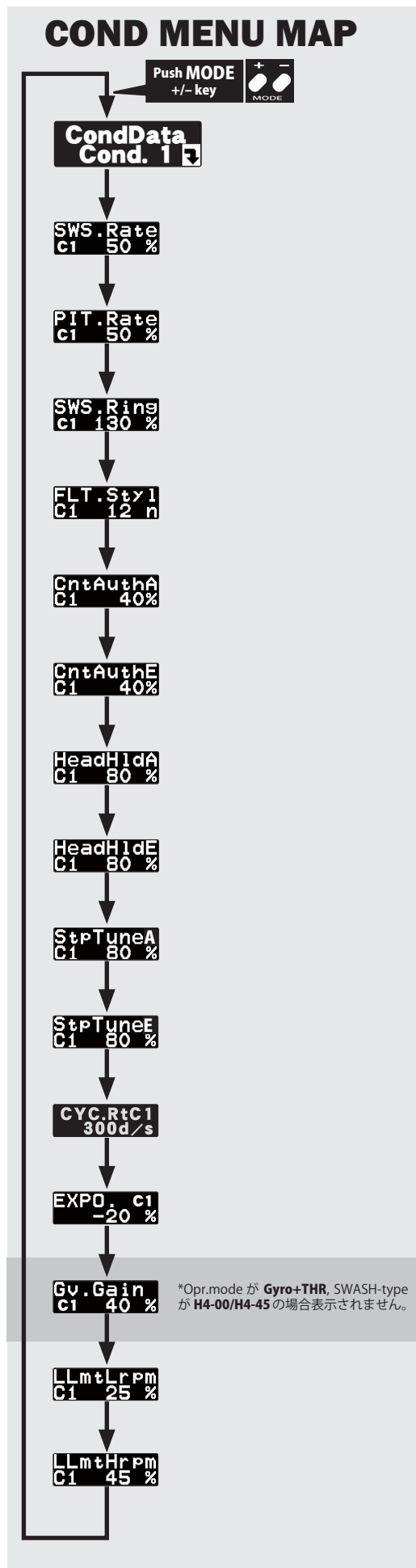
⑦ 回転数ダウンディレイ <初期値：10 > <設定範囲：2~20 >
回転数設定を減少させるとき、急激な回転数変化を抑えるため、ディレイを設定します。DATA +/- キーを押すごとに値が切替わります。

⑧ スタートディレイ <初期値：5 > <設定範囲：2~20 >
ガバナー機能がONとなってから、設定回転数になるまで、急激な回転数変動を抑えるため、ディレイを設定します。DATA +/- キーを押すごとに値が切替わります。

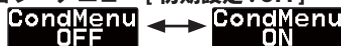
⑨ 回転数設定範囲 <初期値：1,000rpm > <設定範囲：1,000rpm または 700rpm >
最小回転数設定範囲を選択します。最小値 1,000 rpm または 700 rpm を選択できます。大型ガソリン機など、ローター回転数が 1,000 rpm 以下のヘリにも対応します。また、最大回転数設定範囲は、4,000 rpm です。小型ヘリなど、高回転で動作するヘリに対応します。
注意：高回転で回転するローターには、大きな荷重がかかり、ローターブレードの脱落、ヘッドの破損等が発生する危険性があります。ヘリ、ローターの強度限界以上の回転数設定をしないで下さい。

⑩ リセット
ガバナー機能のデータリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。DATA + または - キーを押すと、Exec.?? の確認画面となります。更にもう一度データ + または - キーを押すと、-Exec.-- が表示され、リセットが完了します。リセット完了後は、スタート画面に戻ります。途中でリセット動作を中止するときは、モード + または - キーを押して、リセット画面から退避します。

コンディション・メニューを ON にすると、下記のコンディション切替可能な機能が、あらたに出現する下記のコンディション・メニューへ移動します。



コンディション・メニュー [初期設定: OFF]



送信機のフライト・コンディション機能のように、いくつかのパラメータにおいて、送信機からのスイッチ操作で、2通りのデータを切替えて使用できます。送信機のスイッチが OFF のときのデータをホバリング用、スイッチが ON のときのデータを上空用にするなどの使い方ができます。ロジック・スイッチ機能のある送信機なら、送信機のフライト・コンディション・スイッチと連動させることも可能です。

コンディション・スイッチ [初期設定: DG1]



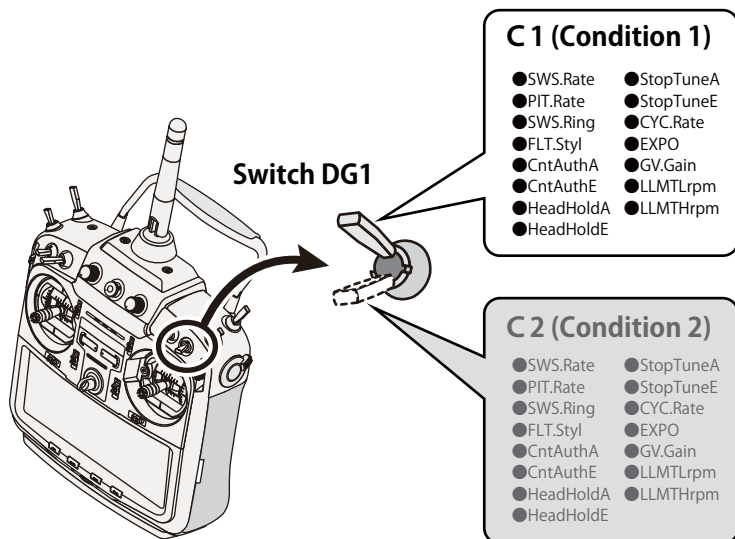
[S.BUS Basic] menu → [S.BUSCND] で送信機のコンディション切替スイッチを変更できます。

設定中のコンディション切替 [C1 ⇄ C2]

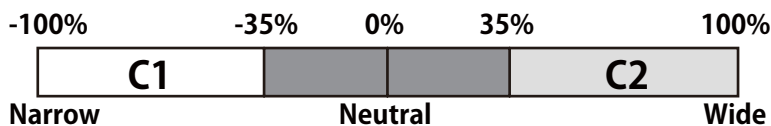


MODE +/- キー長押し
送信機設定に関わらず、コンディションが切替できます。

現在編集中のコンディションと実動作のコンディションが異なる場合、背景と文字が白黒反転します。

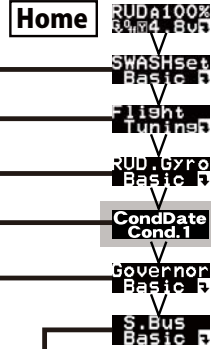


Switch Channel Rate





CGY750V2-3D Style-MAP



SWASHset Basic
スワッシュ ベーシック

StpStyl1 C1
セットアップスタイル

Dpr.Mode GyroGov
オペレーションモード

ServoTyp AN: 70Hz
サーボタイプ

SWASHTYP H3-120
スワッシュタイプ

ServoDir Comb# 1
サーボディレクション

SWS.Dir AIL: +
スワッシュディレクション AIL

SWS.Dir ELE: +
スワッシュディレクション ELE

SWS.Dir PIT: +
スワッシュディレクション PIT

AIL.Ntr +0 uS
ニュートラル AIL

ELE.Ntr +0 uS
ニュートラル ELE

PIT.Ntr +0 uS
ニュートラル PIT

(ELE2Ntr +0 uS)
ニュートラル ELE2

SWS.Rate C1: 50 %
スワッシュレート

PIT.Rate C1: 50 %
ピッチレート

SWS.Rins C1: 130 %
スワッシュリング

AGy.Dir Normal
AIL ジャイロディレクション

EGy.Dir Normal
ELE ジャイロディレクション

Stk.Dir AIL: R45
AIL ディレクション メモリ

Stk.Dir ELE: U27
ELE ディレクション メモリ

Pit.Low U: 940 uS
ピッチローメモリ

Pit.Zero U: 1520 uS
ピッチゼロメモリ

Pit.High U: 1100 uS
ピッチハイメモリ

スワッシュ ベーシック

Flight Tuning
フライトチューニング

Basegain C1: 100 %
ジャイロ ベース ゲイン

CYC.Rate C1: 300dZ
サイクリックレート

EXPO.C1 C1: -20 %
エキスポネンシャル

CntAuthA C1: 40 %
コントロールオーソリティー AIL

CntAuthE C1: 40 %
コントロールオーソリティー ELE

FLT.Styl1 C1: 12
フライトスタイル

ELE.Comp C1: 0 %
ELE 補正

HP Auth. C1: 0 %
ハイピッチ オーソリティー

フライト チューニング

RUD.Gyro Basic
RUD ジャイロ ベーシック

ServoTyp DG: 1520
サーボタイプ

Gy.Dir Normal
ジャイロディレクション

Sv.Limit Bl: 100 %
サーボリミット

Wrk.Mode CMT
ジャイロ動作モード

ラダー ベーシック

CondDate Cond.1
コンディション

SWS.Rate C1: 50 %
スワッシュレート

PIT.Rate C1: 50 %
ピッチレート

SWS.Rins C1: 130 %
スワッシュリング

FLT.Styl1 C1: 12
フライトスタイル

CntAuthA C1: 40 %
コントロールオーソリティー AIL

CntAuthE C1: 40 %
コントロールオーソリティー ELE

HeadHide AIL: 80 %
ヘッドホールド AIL

HeadHide ELE: 80 %
ヘッドホールド ELE

StpTuneA C1: 80 %
ストップチューン AIL

StpTuneE C1: 80 %
ストップチューン ELE

CYC.Rate C1: 300dZ
サイクリックレート

EXPO.C1 C1: -20 %
エキスポネンシャル

Gv.Gain C1: 40 %
ガバナーゲイン

LmtLrpm C1: 25 %
ローリミット L rpm

LmtHrpm C1: 45 %
ローリミット H rpm

コンディション メニュー

CondMenu
CondMenuがONの場合
CondMenuへ移動

Governor Basic
ガバナーベーシック

RPMset: 1 1100rpm
回転数設定

Gear.Rt 8.00
ギアレシオ

Pole.Nmb 2
ポールナンバー

ServoTyp Analog
サーボ選択

Stick.Sw ON 30 %
スティックスイッチ

On/OffSw Inhibit
ガバナー on/off スイッチ

LimitSet Idle
サーボリミット ポイント

Rev.Sens 1x 52MM
回転センサテスト

SenseTyp Nitro
センサタイプ

Gv.Gain C1: 40 %
ガバナーゲイン

LmtLrpm C1: 25 %
ローリミット L rpm

LmtHrpm C1: 45 %
ローリミット H rpm

ガバナー ベーシック

S.Bus Basic
S.BUS ベーシック

S.BUSCNV AIL: 100 %
AIL チャンネル

S.BUSCNE ELE: 20 %
ELE チャンネル

S.BUSCNE THR: 30 %
スロットル チャンネル

S.BUSCN1 RUD: 40 %
ラダー チャンネル

S.BUSCNE PIT: 60 %
ピッチ チャンネル

RotHD.Gr 90 %
ローターヘッドゲインCH

S.BUSCN2 Rgn: 50 %
RUD ゲイン チャンネル

S.BUSCN4 RPM: 20 %
RPM チャンネル

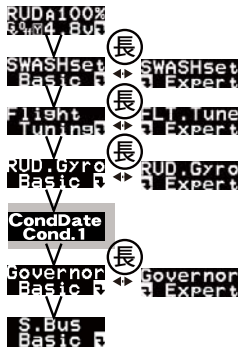
S.BUSCNE GVS: 80 %
ガバナー ON/OFF チャンネル

S.BUSCNE Cnd: DG1
コンディション チャンネル

RESET S.Bus
S.BUS リセット

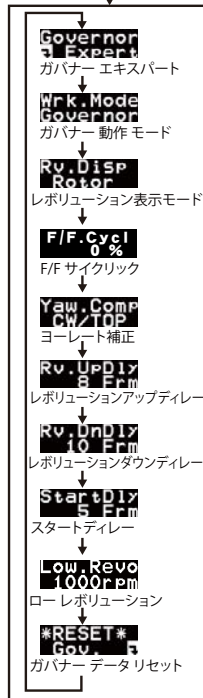
S.BUS ベーシック

MODE +- : →
 DATA +- : >

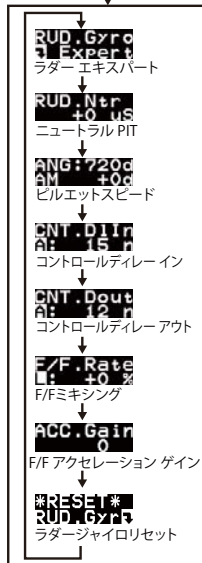


ベーシック⇔エキスパート

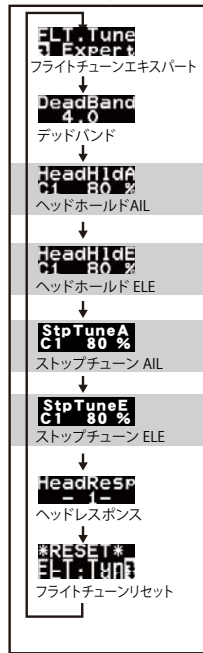
Ⓜ:MODE 長押し



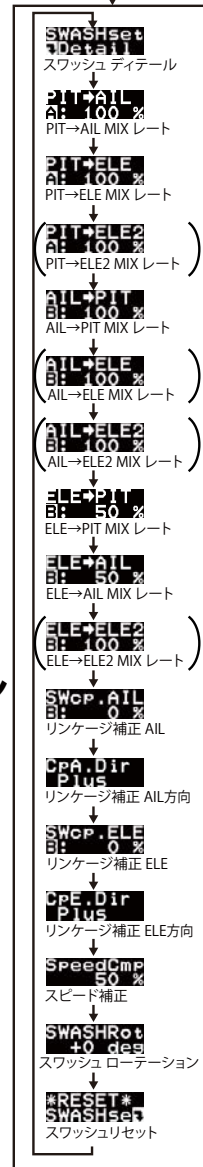
**ガバナー
エキスパート**



**ラダー
エキスパート**



**フライトチューン
エキスパート**



**スワッシュ
ディテール**

セットアップスタイル (スワッシュベーシックメニュー) を "3D" に変更した場合のマップです。
 エルロンエキスパートとエレベータエキスパートがフライトチューンエキスパートに統合されるなど一部機能の設定が簡略化されます。

